

～介護福祉職のための実践研修会～

急変（状態変化）時の対応

日時 平成 28 年 8 月 21 日（日） 10:00 ～ 11:30
8 月 27 日（土） 10:00 ～ 11:30
場所 長浜市民交流センター
講師 岸本 康子先生 訪問看護ステーション彩 管理者

日頃の介護サービス現場の中で思いがけない事故や急変に遭遇することがあります。要支援者や要介護者の方々は様々な身体の機能が低下しているために、多くの病気を抱えておられます。それらの病気は互いに関連し合っている事が多いのです。また運動機能や嚥下機能、知覚機能などが低下することにより食事や排泄、入浴のケアを行う時に転倒や誤嚥、熱傷などの事故や急変が起こる事も予測されます。そのために介護に携わっているみなさんはいつ何時このような緊急事態に遭遇するかわからないのです。

※ 緊急事態に遭遇した時の心の中を見てみると…

きゃー！どうしよう！どうしたらいい？
だれかー
私のせいかな？ 怒られるっ～
パニック！パニック！パニック！
何で、私の時なん？ 誰に連絡するん？
先生に連絡？ なんて言えばいいん？
…事故届…書かんとあかん…な
誰か電話に出てえ～ 助けて～



※ 今回の研修では…

状態が変化した時や事故が起こった時ドキドキするのは誰でも同じです。そんな時にいかに冷静に対応できるか！皆さんと今まで経験してきた事、聞いた事、不安だった事等を共有し、その時の行動を振り返る中で問題点や疑問点を解決していきます。今回の研修では、自分の周りにも起こるかも知れないとっさの緊急事態に対応できる心と知識を学んでいただき、明日からの業務に役立てていただきたいと思います。



グループワークの目的

◎「経験は宝なり」 自分が経験しない事は「見る・聴く・読む」事で補い、経験したかのように自分の力となります。今回グループワークに参加するだけであなたの経験値が高まります。

◎様々な現場で起こった事を共有することで自分たちだけではないという共感や連帯意識を持つことができます。今後の多職種との連携の提案に繋がられます。



こんな経験ありませんか？

◎訪問（送迎時）したら利用者さんが転倒されていた！

◎訪問（送迎）時にいつもと違う状態…なんとなくどこか違う！

◎食事介助中咳き込まれた…顔色が違ってきた！

◎意識低下…看取りって言われたけど救急車呼ばなくていいの？

◎いつものように体温測ったら高熱！症状が無いんだけど？

◎自宅（施設）のトイレに行かれてトイレで転倒された。具合が悪くなられた！

◎自宅に訪問（送迎）した際に嘔吐の後があった！

◎暑い夏…おしっこの量が少ない。お茶を勧めても飲まれない！なんか腫れぼったい！

◎歩き方がおかしい。みると足が腫れている！

◎けがをしたのか手や足にガーゼ（ティッシュ）を巻いている！

こんな時に、どうしていますか？



こんな時はこんな事に注意しましょう



NGワードを
一覧表にしました

こんな時？	こんな事に注意！NGワード	なぜ？
頭が痛い！と訴えられる	介護職の判断や利用者の希望だけで薬の服用は NG 無理に身体を動かす、頭を揺らすのは NG	くも膜下出血、脳内出血など迅速な対応が必要
胸が痛い！と訴えられる	痛みが軽度と様子を見るのは NG、 既往がある方は日頃からどこにニトロがあるのか CHECK	心筋梗塞、狭心症 高齢者は痛みが強くない時がある。
腹が痛い！と訴えられる	腹部を温めたり冷やすのは NG 介護職の判断や利用者の希望だけで薬の服用は NG	循環器系、泌尿器系、 婦人科系の病気 重症でも痛みが強くない、鈍痛の場合もある。
嘔吐された、されていた	介護職の判断や利用者の希望だけで薬の服用は NG 吐物を素手で触るのは NG	感染症、消化器系、 脳血管疾患 感染物としての扱いをする。
熱がある、悪寒がある	汗をかいたまま体温測定は NG 悪寒がある時、体温測定は NG 介護職の判断や利用者の希望だけで薬の服用は NG 熱だけで判断するのは NG 微熱でも食欲がない場合は CHECK	感染症、体温調節機能の低下、脱水
鼻血が出ている	頭を後ろに反らせたり、仰向けは NG 首の後ろを叩くのは NG 血液が流れ込んだ時に飲み込むのは NG	外部からの刺激、興奮、のぼせ高血圧、 糖尿病、動脈硬化。 呼吸困難や吐き気の原因になる。
血を吐かれている	素手で血を触るのは NG 仰向きでの安静は NG	吐血は消化器から 咯血は呼吸器からの出血で顔面蒼白、冷や汗を伴う場合出血性ショックになる可能性。
転倒・転落されている	揺すったり身体を叩くのは NG	骨折していても痛み

転ばれた	頭を動かすのは NG 痛みもなく動作に問題が無いので報告しないのは NG	がなく腫れない場合もある。 頭を打たれた場合、48 時間は要注意
食べ物？が喉に詰まった	背中を叩くのは NG 食物が取れても安心するのは NG	誤嚥性肺炎 窒息
意識が低下している、低下してきた。	吐物による窒息の恐れがあるので仰臥位は NG 血圧測定して安心するのは NG うとうと…寝ていると勘違いするのは NG	脳血管系の疾患 脳血管系以外の疾患
呼吸が苦しうにされている	介護職の判断で薬を飲ませたり、吸入をすることは NG	誤嚥 呼吸器系疾患 循環器系疾患
ポットの湯でやけどされている	消毒薬、市販薬を自己判断で塗布するのは NG アロエ・味噌など民間療法は NG 水泡を潰すのは NG	
救急車呼んで欲しいと言われたら	救急車を安易に呼ぶのは NG	必要性があるのか 状況判断が大切

緊急時の心構え

冷静に落ち着いて行動をしましょう！
 何が起きているのか！ 観察・確認しましょう！
 自己判断禁物、報告・連絡・相談が大切！
 イメージトレーニングが大切！ こんな時はどう動く？どうする訓練！
 救急車を呼ぶ？呼ばない？ **かかりつけ医、訪問看護との連携**がカギ
 緊急時のマニュアル、連絡体制の確認！

暑い中お疲れ様でした。

